

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
国 語	N 現 代 文	4	3	文系GA	1～5組

教 科 書	『精選 文学国語』（三省堂）	副 教 材	『現代文 単元別問題集 大学入学共通テスト』（駿台文庫）
			『新訂総合国語便覧』（第一学習社）ほか

科 目 の 目 標	<p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>(3) 言語感覚を磨き、言語文化の担い手としての自覚を持ち、国語の能力向上を図る態度を養う。</p>
-----------------------	---

科 目 の 概 要	<p>高等学校2年までの国語科科目の学習により育成された資質・能力を基盤として、創造的・論理的思考の力を伸ばしつつ、他者との意思疎通や共通理解、さらには課題解決に必要な言語運用能力を身につけ、効果的に表現する技術を獲得することを通じて、国語に対する理解を深るとともに言語文化の担い手としての自覚を深める科目である。</p>
-----------------------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○言葉には、認識や説明を可能にし、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したか。 ○表現を通じて、語感を磨き、語彙を豊かにできたか。 ○文章の種類・特徴や技法について、体系的に理解しているか。 ○読書の効用と意義について、理解を深められたか。	○読み手の関心を引き出すような文章表現、文体、修辞の工夫ができているか。 ○作品の語りや構成等に注意して、内容の解釈ができているか。 ○多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねるなど、主題や主張を明確に理解、表現したか。 ○文章の解釈を通じて、人間、社会、自然などへの洞察を深められたか。	○社会的な話題や文学作品について、評価し、他者の考えを参考にしながら、論述したり討論することができたか。 ○先行する研究や作品を参考に、様々な観点を示したり、創作したり、批評したりできたか。 ○社会的な事柄や文学的事象について調べるなどして、成果を発表したり、まとめたりすることができたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、学期末・学年末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	◇読むこと・書くこと・語ること 大江健三郎『想像し物語ること』 ◇大学入試問題対策演習 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	○国語の文章構造を理解し、あわせて筆者の考える「想像力」のはたらきを把握する。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
	◇小説（戦争文学を読む） 原 民喜『夏の花』 ◇大学入試問題対策演習 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	○文学的な文章の内容を把握し、あわせて作中の「私」が目撃した原爆投下後の光景を、表現を吟味しながら理解する。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
2 学 期	◇評論（伝統文化と近代） 小林秀雄『無常ということ』 ◇大学入試問題対策演習 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	○文芸評論に特有の文体を意識しつつ、文章の構造と内容を理解する。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
	◇大学入試問題対策演習 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
3 学 期	※特別編成授業（別途案内）	